

# 登山月報



ピラミッド・ピーク (7,123m)



<b>速報</b> アジア大会で金、銀、銅獲得	2
世界ユース選手権2018報告	2
第73回福井国体プレ大会報告	3
第21回JOCジュニアオリンピックカップ南砺2018	5
第118回 Mountain World	6
<b>新連載</b> 『日山協と私』	7
第3回「山の日」記念全国大会 in 大山2018	8
平成30年度全国高等学校総合体育大会登山大会	9
平成30年度全国山岳遭難対策協議会	10
平成30年度(前期)海外登山奨励金選考結果	11
文部科学大臣顕彰・表彰式・大宮求さんのお別れの会	12
山岳遭難対策シンポジウム開催	12
JMSCA、寄贈図書、表紙のことば、編集後記	13

ジャカルタのパレンバンで開催された第18回アジア競技大会（大会期間8月18日～9月2日）に初めて競技種目として取り入れられたスポーツクライミングは、複合競技で野口啓代選手が金、藤井快選手が銀、梶崎智亜選手が銅メダルに輝いた。

スポーツクライミングのコンバインドは、8月23日スピード、24日ボルダリング、25日にリード競技の予選がそれぞれ行われ、4人とも決勝進出を果たした。

女子の野口は、3位（スピード11位、ボルダリング3位、リード2位）、伊藤ふたばは、6位（スピード9位、ボルダリング7位、リード4位）で通過。

男子は梶崎が1位（スピード6位、ボルダリング1位、リード1位）、藤井が4位（スピード17位、ボルダリング6位、リード2位）でそれぞれ予選通過した。

26日のコンバインド女子決勝では、野口が苦手とするスピードで最下位と出遅れた。しかし、得意のボルダリングでは圧巻の強さを見せた。不利な1番手を強いられたが、最初の3課題を順調にクリアし、一番難しかったという最終課題も4度目のトライで成功させ、6人中唯一の4課題完登で1位。リードは2位で12ポイントとなり、SA Sol選手（韓国）と並んだが、ボルダリングとリードの順位が上位だった野口が金メダルとなった。伊藤は、スピード4位、ボルダリング2位と2種目を終えて暫定3位でリードに臨んだが、途中で右足を痛めて落下。そのまま担架で運ばれて無念の結果となった。

男子は、藤井がスピード5位、ボルダリング3位と2種目を終えて5位と出遅れたが、リードで1位と



男子表彰



女子表彰

なって、大逆転で銀メダルを獲得した。梶崎は、スピード4位、ボルダリング2位でリードに臨んだが、藤井に及ばず2位で銅メダルとなった。

## コンバインド女子決勝成績

順	選手名(国・所属)	S	B	L	P
1	野口啓代 (TEAM au)	6	1	2	12
2	SA Sol (韓国)	1	4	3	12
3	KIM JA In (韓国)	5	3	1	15
4	伊藤ふたば (TEAM au)	4	2	4	32

## コンバインド男子決勝成績

順	選手名(国・所属)	S	B	L	P
1	Chon Jongwon (韓国)	2	1	3	6
2	藤井 快 (TEAM au)	5	3	1	15
3	梶崎 智亜 (TEAM au)	4	2	2	16

※S：スピード、B：ボルダリング、L：リード、P：3種目の乗数ポイント

## 世界ユース選手権2018報告

2018年8月9日～16日にロシア・モスクワで世界ユース選手権が開催され、5大陸43カ国から699名のアスリートが参加し、大きな盛り上がりを見せました。日本からは20名のクライマーが参加し、国際大会初出場の選手が多いチーム編成でしたが、選手一人一人が粘り強く頑張り、金メダル6個、銀メダル1個、銅メダル7個の計14個を獲得し、昨年に続き国別ランキング1位を維持することができました。

## ◎ジュニア（1999 - 2000年生）

男子は、初出場の今泉結太がボルダリング予選を全完1撃し、会場を大きく沸かせました。その波に乗って今泉、梶崎明智、原田海の3人が決勝に進出。最後のさいごまで展開の読めない接戦を繰り広げ、最後に梶崎が優勝を決めました。梶崎はリードでも優勝し、見事2冠を達成しました。女子は、中村真緒が昨年予選落ちした悔しさをバネに、今年大きく飛躍し、決勝

に進出。最後まで表彰台争いを繰り広げて4位に入りました。

◎ユースA (2001 - 2002年生)

男子は、小西桂がボルダリングとリードの2種目で決勝に進出し、リードで3位に入賞。リードでは小西を抑えて、西田秀聖が優勝しました。女子は、今季ボルダリングワールドカップで切磋琢磨している、伊藤ふたばと菊地咲希が同種目で決勝に進出。両者とも最後まで優勝争いに食い込み、伊藤が3位入賞、菊池が4位に入りました。伊藤はリードでも決勝に進出し、2位に入賞しました。

◎ユースB (2003 - 2004年生)

男子は、昨年から出場している川又玲瑛と抜井亮瑛が安定の登りを見せて、昨年に続き川又がボルダリング2連覇、抜井が3位入賞を果たしました。初出場の前田健太郎は、ボルダリングとリードの2種目で決勝に進出し、リードで3位に入賞しました。スピードでも日本チームで唯一予選ラウンドを突破しました。

女子も、昨年出場組の谷井菜月が圧巻の登りを見せ、ボルダリングとリード両方で優勝、2冠を達成しました。初出場の工藤花も両種目で決勝に進出し、得意のボルダリングで谷井を脅かす登りを見せ、3位に入賞しました。

次回は、今回の世界ユース派遣選手に加えて、JOCジュニアオリンピックカップ2018で選考された6名

が新たに入り、11月に中国・重慶で開催されるアジアユース選手権大会に出場します。

(記 西谷善子)

**第73回福井国体プレ大会報告**

第73回国民体育大会山岳競技会プレ大会が、6月2日(土)～3日(日)の2日間、福井県池田町において開催された。同大会は、国体山岳競技がリード、ボルダリング競技の競技種目となった、第63回大分国体から続いていた「リード・ジャパンカップ」(31回開催)から、本大会同様の競技種目を取り入れた「全日本大学スポーツクライミング対抗選手権大会」へと、変更した節目の記念すべき大会となった。

大会は、本協会、第73回国体池田町実行委員会主催、池田町、池田町教育委員会、全日本大学スポーツクライミング協会共催、福井県山岳連盟主管のもと、杉本博文・池田町長、水村信二・全日本大学スポーツクライミング協会会長、八木原暁明・本協会長よりの祝辞・挨拶で始まった。

競技運営は、大学協会、会場地実行委員会の皆様のご努力下、リード、ボルダリング競技を同日、同時に2競技を行うことができ、プレ大会に相応しい大会運営を図ることができた。

競技会は、前日に選手受付、チーム代表者会議が行われ、翌日から2日間初夏の日差しの中、熱戦が繰り広げられた。

【競技日程】

	リード競技	ボルダリング競技
6月1日(金)	第2回基準会議 選手受付、代表者会議	
6月2日(土)	開会式	
	女子(1部、2部)予選、決勝 表彰式	男子(1部、2部)予選、決勝 表彰式
6月3日(日)	男子(1部、2部)予選、決勝 表彰式	女子(1部、2部)予選、決勝 表彰式
	審判員会議	
	総合表彰式	
	閉会式	

当初危惧された出場選手数も、池田町のご尽力で宿泊施設「農村d e 合宿キャンプセンター」(スピード、リード、ボルダリングウォール併設)での宿泊や最寄り駅や宿泊施設から会場への計画輸送の実施など、選手が負担なく競技に集中できる環境整備をお計りいただいた結果、総数で72名の選手により行うことができた。



メダリスト集合写真



チーム集合写真

### 【競技出場者数】

	リード競技	ボルダリング競技
男1部	8チーム(16名)	8チーム(16名)
女1部	6チーム(12名)	3チーム(6名)
男2部	5チーム(10名)	2チーム(4名)
女2部	2チーム(4名)	2チーム(4名)
延べ数	21チーム(42名)	15チーム(30名)

総合優勝校は男子では初優勝となる、立教大学、女子では選手層の厚い、明治大学が3年連続3度目の優勝を果たした。

優勝校へは、水村信二・大学協会会長より「優勝カップ」と、今回の開催に際しご協賛いただいた、(株)好日山荘・グラビティリサーチ、マムート・スポーツグループ・ジャパン、スポルティバジャパン各社からの賞品贈呈も行われた。ご協賛、ありがとうございました。

### 【ボルダリング男子】

	1課題	2課題	3課題	4課題
予選	初級	3級	1級	2級
決勝	1級	2級	初～2級	2級

### 【女子】

	1課題	2課題	3課題	4課題
予選	4級	2級	3級	2～3級
決勝	3～4級	2級	3級	2級

### 【リード】

	男子	女子
予選	12 c	12 b
決勝	13 a	12 d

競技内容について、ボルダリング競技において、スタート、ゴールでの、保持、完登動作が曖昧な選手が見られた。競技である以上、基本ルールをしっかりと学んで競技会へ出場をしていただきたい。

プレ大会とはいえ、選手への安全面や競技への不安が見られ、競技施設整備状況の確認指摘事項として、会場地実行委員会へ申し入れを行った。

競技中に一件の落下事故が発生し、現場救護にて救急搬送の必要を判断しことなきを得た。



リード競技ウォール



宿泊施設「農村de合宿キャンプセンター」

なお本来の競技中ではないが、宿泊施設において参加者の不注意から重大な事故につながる事案が発生し、関係者の皆様には大変ご心配とご迷惑をお掛けしたとお詫びします。本協会として、スポーツの安全性の確保については引き続き指導、啓発を進めていきたい。

選手の皆様、来年は茨城県銚田市での開催です。ぜひ、来年もご出場してください。お待ちしております。

さて振り返ってみれば、競技役員175名、高校・中学生補助員40名、競技会係員76名、計291名にのぼる多くの運営役員と多くのボランティアによって支えられた大会で、今後の国体プレ大会の運営モデルになると感じた。

天候にも恵まれ、会場の皆様の熱き鼓動が伝わる意義大きいプレ大会であったと思います。残された本大会までに課題を整理され、きたる10月の「しあわせ元気＝織りなそう力と技と美しさ」の第73回国民体育大会山岳競技会を、成功に導いてくださるようお願い申し上げます。ありがとうございました。

(記 西原斗司男)



男子優勝 立教大学

### 福井しあわせ元気国体2018

#### 第73回国民体育大会 織りなそう力と技と美しさ

山岳競技は、10月5日(金)～7日(日)に福井県今郡池田町の池田町特設会場で開催されます。

# 第21回JOCジュニアオリンピックカップ 南砺2018

期日 2018年8月11日－13日  
 会場 富山県南砺市 桜が池クライミングセンター  
 参加 ジュニア 男子19(11) 女子11(13)  
 ユースA 男子35(39) 女子19(22)  
 ユースB 男子41(39) 女子31(33)  
 ユースC 男子26(24) 女子25(26)  
 計 男子121(113) 女子86(94)  
 ※( )内は2017年

観戦 11日476人 12日476人 13日260人

メディア 5社

気象 11日 気温29.3 湿度70% WBGT26.0  
 12日 気温29.2 湿度81% WBGT27.4  
 13日 気温31.2 湿度78% WBGT30.0

今回世界ユース選手権(ロシア)が重なり上位の選手が不参加となったが、選手層の厚さもあり昨年同様の戦いが繰り広げられた。



ただ、今年他大会(インターハイなど)においても実施の可否を求められるほどの猛暑が続



き、JOCにおいても対策を行った。主催者として、飲料水の配布、熱中症の注意喚起、暑さ指数(WBGT/湿球黒球温度)による管理を実施。

幸い、高気圧の勢力が弱まり当初予想していた暑さはなく平年よりも気温は低い状況であった。ただ湿度は非常に高く、ルートセット、選手のパフォーマンスに影響を与えた。

ユースCは身長を考慮し単独でA壁に設置。今までのスタイルを継承したが登っている姿を見ると他のカテゴリーと同じでもいいのではと思うほどの登りだ。ヒールの使い方などレベルが高い。ユースB～ジュニアは同ルート。これも例年通り中央の壁から左右へ渡りの課題。手数50ほどのロング



ルート。トリッキーなムーブはないが、最後まで安定した登りができることが武器になる。女子はユースA平野夏海、男子はジュニアの本間大晴が完登。両者とも最後までムーブに安定感があった。



## 〈ユースC〉

順位	氏名	都道府県	高度	前ラウンド
1	安楽 宙斗	千葉県	TOP	2
2	通谷 律	佐賀県	45	1
3	内木 智	大阪府	42+	3

順位	氏名	都道府県	高度	前ラウンド
1	小池 はな	埼玉県	42+	1
2	小倉 紗奈	奈良県	42+	2
3	石井 秀佳	東京都	37	4

## 〈ユースB〉

順位	氏名	都道府県	高度	前ラウンド
1	吉田 智音	奈良県	49+	1
2	田中 裕也	岐阜県	46+	1
3	村下 善乙	千葉県	46	1

順位	氏名	都道府県	高度	前ラウンド
1	美谷島ももか	東京都	43+	1
2	中川 瑠	大阪府	43+	8
3	柿崎 未羽	東京都	42+	1

## 〈ユースA〉

順位	氏名	都道府県	高度	前ラウンド
1	大政 涼	愛媛県	48+	1
2	靄本 直生	佐賀県	47+	5
3	山口 龍磨	東京都	46+	1

順位	氏名	都道府県	高度	前ラウンド
1	平野 夏海	東京都	TOP	1
2	樋口 結花	佐賀県	39+	2
3	小島 果琳	岐阜県	28+	2

## 〈ジュニア〉

順位	氏名	都道府県	高度	前ラウンド
1	本間 大晴	埼玉県	TOP	1
2	井上 遼	愛媛県	49	1
3	土肥 圭太	神奈川県	47	3

順位	氏名	都道府県	高度	前ラウンド
1	西田 朱李	千葉県	47+	1
2	黒岡 水夢	大阪府	28+	2
3	林 まりな	福島県	28+	3

来年は、8月に世界選手権が予定されている。JOCは時期を変更しての開催となる。

(大会委員長 村岡正己)





新連載 ～創立60周年に向けて～ (4)

# 『日山協と私』

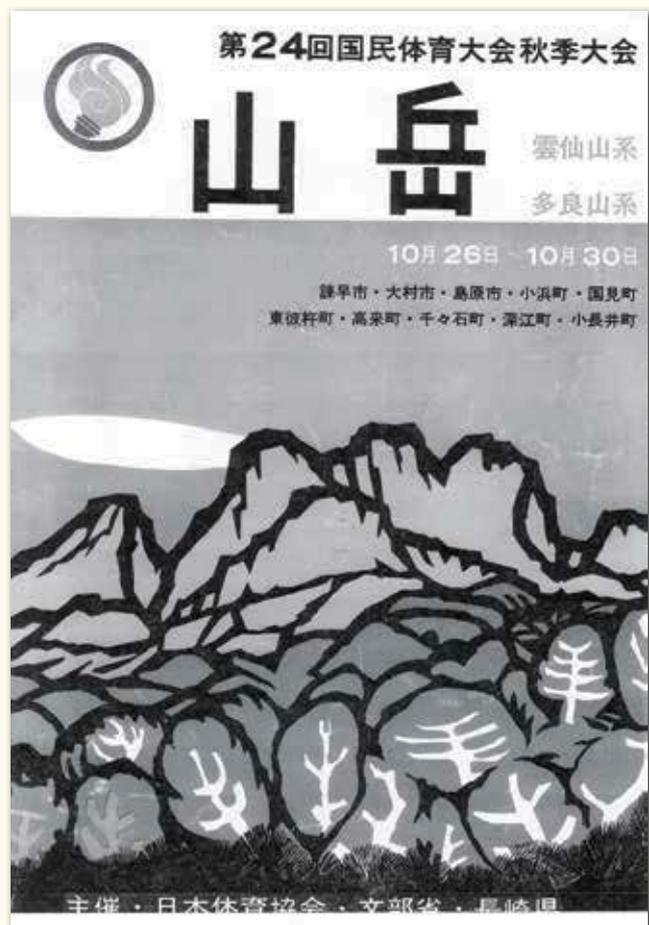
長崎県山岳連盟 一瀬 義典

## 回想「50年間に私がかかわった国体山岳競技」

長崎国体の構想は昭和30年半ばから始まっていた。昭和39(1964)年第19回新潟国体の山岳競技は新発田市を中心に飯豊山の山域で開催された。その年は秋に東京オリンピックが開催されるので国体は6月に開催された。その大会に私は高校の監督として参加。この時の体験とコースを参考にして長崎国体の原案をまとめた。第21回大分国体には長崎県から一般のC Lに田中勝、高校のS Lに一瀬が参加して国体の内容を確認した。

当時の国体は一般A, B, Cの3コース、高校D, Eの2コースさらに役員コースFと6つの登山コースが必要だった。長崎県の山は多良岳と雲仙岳が1,000mを越す山系で、どちらかに6コース各3泊4日のコースを作ることは難しい。そこで2山域をバスでつないでコースを作った。既設のキャンプ場では不足で新しくキャンプ場も開いた。

開催地となる市と町は10の市町にまたがり、諫早市



ツェルマットのロートホルン山頂(2016年、83歳)

が中心となり実行委員会連合会を立ち上げた。当時の登山道は国体を開催するには少なく新しい登山道を開発し、キャンプ場も新たに設けた。50年後の現在そのキャンプ場の大半は使われていない。登山道も踏みあとさえ無いところもある、雲仙では火砕流で消失したところもある。当時のルートを知る人もほとんど居なくなつた。数年前に田部井淳子氏を雲仙に案内したとき、山頂で「海が左右に見える」といわれた言葉が強く印象に残っている。多良岳でも雲仙からでも山頂からは東を向いても西を見ても海が見える山が会場となった国体だった。

当時は表彰チームの選考方法について議論が始まった頃でもある。長崎大会では一部のコースで時間を競い合わせ議論を呈したコースもあった。

その後の私は長崎県岳連の役員として各年度の選手選出には関わったが大会に参加することはなかった。昭和の終わり福岡国体には踏査競技主任審判員として参加した。山岳競技は縦走、登攀、踏査の種別があり山岳競技の採点方法が確立した時代ではあるが山岳競技は「登山」の範疇であるという本質はしっかり残されていた。

平成26(2014)年、再び長崎県で国体が開催された。私の登山人生で2回も国体の運営に関わるとは考えてもいなかった。平成の国体ではひな壇に座っただけであるが、山岳競技の変貌に時代の変化を実感した。50年前の選手は特大のキスリングを背負い重いナーゲルを履いていた。現代の選手達は華やかなトレーニングウェアを着て、キャスター付きのトラベルバッグを引く姿である。どう見ても山岳競技とは老人には見えない。大観衆が注視する中で垂直を越すクライミングウォールを肌もあらわな女性がアクロバティックに舞う姿は古い岳人には予想もしなかった山岳競技となっていた。

## 第3回「山の日」記念全国大会 in 大山 2018

8月11日に第3回「山の日」記念全国大会 in 大山2018(同大会実行委員会主催)の記念式典とトークセッションが、とかしき なおみ環境副大臣、谷合正明農林水産副大臣をはじめ平井伸治鳥取県知事、伊木隆司米子市長、竹口大紀大山町長など県内外の行政・山岳関係者らが出席し、開山1300年の節目を迎えた大山の麓、鳥取県大山町と米子市で開催された。

前日には米子市のホテルでレセプションが盛大に行われ、地元の食品が振舞われた。オープニングではゴスペルオーブの皆さんが「大山賛歌」を合唱。地元の平井知事や伊木市長の歓迎の挨拶の後、ソン・ツクドゥ大韓民国荏原道行政副知事が来賓挨拶を述べ、竹口大山町長のご発声で乾杯となった。来賓紹介の後、山梨県の後藤斎知事が次年度開催の挨拶を行い、歓談に入った。歓談中には「淀江さんこ節保存会」の皆さんが地元伝統芸能を披露されて会場は盛り上がった。

翌11日は、大山町総合体育館で記念式典が行われ、全国から約700人が来場した。開会前には鳥取県警察音楽隊が来場者が和むようなウエルカム演奏でもてなしてくれた。

地元ボーイスカウト、ガールスカウトの子どもたちの「山鐘」で式典が開始。衛藤征士郎超党派「山の日」議員連盟会長が開会を宣言した後、実行委員会会長の平井知事は、「大山の豊かな大地や水が多く恵みをもたらしてくれた。今後も守り続けていきたい。」と述べた。続いて地元の伊木市長、竹口町長が歓迎の挨拶をし、来賓を代表してとかしき環境副大臣、谷合農林水産副大臣が挨拶した。

メインアトラクションでは、「とっとりふるさと大使」を務める女優の瀧本美織さんがナビゲーターを務め、伝統芸能の僧兵太鼓が披露され、大山山頂の「一木一石運動」と呼ばれる保全活動の様子が紹介された。



大山記念登山



平井鳥取県知事の主催者挨拶

来年の第4回「山の日」記念全国大会の開催地となる山梨県からは、後藤知事、岸川仁和甲府副市長がお見えになり、リレーセレモニーでは「山の日帽子」の引き継ぎが行われた。

地元ボーイスカウト、ガールスカウト、山陰少年少女合唱団リトルフェニックスの子どもたちが、「山を学び、山の素晴らしさ、厳しさを知ろう」「山を敬い、山を守る気持ちの輪を広げよう」など5カ条の「とっとり大山『山の日』憲章」を元気よく発表して、式典は終了した。

午後2時からは、会場を米子市公会堂に移してトークセッションが行われた。出演者は、檀ふみ、(女優)、貫田宗男(登山家)、山田桂一郎(観光カリスマ)、萩原浩司(山と溪谷社)の各氏。檀さんは、志賀直哉の小説「暗夜行路」で大山の大自然に触れた場面を朗読。その後、萩原さんがコーディネートして、山を守る理念と重要性、山と共に生きる意義や誰もが山を楽しめる取り組み等について各氏が話された。山田氏は、「観光」とは「感光」と書いて、その地に住む人たちがその素晴らしさに感じなければ、人は集まらないし、廃れてしまう、と語られた。

式典会場の隣では、「森の恵み感謝祭」と称し、グルメや丸太切り体験など、60のブースが出て、親子連れらが、大山の自然を味わっていた。

また、トークセッション会場の広場では、「里の恵み感謝祭」のブースが出て、賑わっていた。

(記 尾形好雄)



# 平成30年度全国高等学校総合体育大会登山大会

今年の登山大会は、三重県菟野町で開催されました。全国46都道府県と開催県の合計47より選手4名監督1名の男女選手、総勢470名、専門委員長、役員及びスタッフ約300名、合計770名規模の大会です。

8月2日の受付、いろいろな会議を経て、8月3日10時より菟野町町民センターホールで開会式が始まり、いよいよ開始です。



事前説明会

開始直後は、机上審査（自然観察、救急知識、気象、天気図作成）があり、初日の幕営地の三重県民の森までバスで移動。開始直後より大問題です。数日前より東海・中部地方では、異常高温が続き8月3日菟野町でも38度を記録した。夜になっても気温は下がらず、幕営地の標高も低いために、具合が悪くなる選手も出ているようだ。医療担当のドクターよりも警告が出て、本部で相談した結果、8月4日の行動を、メインザック行動をサブザック行動に変更。コースも、八風キャンプ場駐車場より八風峠～釈迦が岳～羽鳥峰～根古谷～朝明キャンプ場までの約6時間の予定を八風峠より下山とするショートコースに変更しました。何しろ背負うザックとコースが違うのですから。この変更をいつ発表するかなど細かい点まで考えて混乱しないように本部では最新の注意を払いスタッフ全員で対応しました。

## 8月4日、八風峠

私は、専門委員長隊に同行して、下山口より登り八



歩行



幕営地

八風峠で声援を送るために待機します。待機中も、測定器でWBGT指数を測定しています。山の稜線でもどんどん上がっていきます。選手が通過する9時から10時頃にはWBGT指数が28を超え警報音がなりました。

八風峠をA隊（男子隊）が到着、休憩、出発。B隊（女子隊）が到着、休憩、出発。監督隊も同様です。ここから下山で樹林帯に入り沢沿いの登山道なのでWBGT指数は下がり、事なきを得ました。今日からWBGT指数とにらめっこが始まります。数人の脱水症状者は出ましたが、熱中症までは行かなかった模様です。

## 8月5日、ブナ清水

この日も気温が高く、ショートカットコースのブナ清水までのピストンに変更されました。

終始、樹林帯のコースでブナ清水は冷たい美味しい水がわく、素晴らしいところです。

## 8月6日、御在所岳

最終日も中道登山道からの御在所岳のみに短縮されましたが、途中のキレット越えで苦勞していました。

御在所朝陽台広場で集合して監督と合流して終了です。御在所岳の山頂までスキー場を全国の選手、監督が大勢で登る光景が印象に残りました

コースが変更になり、成績順位を付けることは相当苦勞されていたようですが結果は

男子優勝：広島、2位：兵庫、3位：群馬

女子優勝：山口、2位：千葉、3位：山形

何とか大きなけがも熱中症の病人も出さずに終了しました。

（記 指導委員長 蛭田伸一）

## 安全登山指導者研修会（西部地区）

期 日 11月17日（土）～19日（月）  
会 場 沖縄県名護市・名護青少年の家・名護岳周辺  
参加費 20,000円  
申込締切：10月19日（金）

# 平成30年度全国山岳遭難対策協議会

今年の全山遭は7月11日(水)中央合同庁舎7号館東館3階講堂にて開催された。スポーツ庁藤江陽子審議官からの挨拶をはじめに以下の内容が報告された。報告Ⅰ「多数遭難者が発生した山岳救助活動」について東京消防庁奥多摩消防署より報告。この事例は今年3月21日に発生した中国人を含む13名によるものである。グループはSNSでの呼びかけで集まった集団でほとんどが登山経験も浅く、装備もスニーカーや一般的な服装で世話人らしき人物はいたがリーダーも明確ではなかった。いわゆるネット知り合の登山グループである。また、天候も途中から雪にかわり最悪な条件での捜索となった。奥多摩の三頭山を登山中に道に迷い、疲労のため動けなくなったと携帯での通報が16時にあった。捜索救助は夜中から始まり次の日の夕方6時までかけ全員無事救出された。行動可能なものは付き添いにより自力で下山、そのほかは背負い搬送、衰弱が激しかった数名は天候回復後ヘリにて救助された。一歩間違えば大量遭難となる事故であった。

**報告Ⅱ** 「平成29年における山岳遭難の概況」について警察庁より報告。細かな発生状況については6月21日に警察庁HPに発表されているので参照願いたい。昨年度遭難件数は減少したが今年は再び増加し、遭難件数2,583件、遭難者3,111人、うち死亡行方不明354人と過去最高となった。遭難者は約80%が中高年で、遭難態様は道迷いが全体の40%といった傾向は変わっていない。昨年から報告内容については数値データの発表に加え、過去のデータ比較による年齢層の推移など様々な分析結果が添えられるように工夫されている。

**講演** 「ココヘリ概要と遭難者発見事例」についてオースジャパン久我代表より報告。ココヘリとはヒトココとヘリによる捜索を合体させたシステムで年会費3,650円「1日10円の命綱」をキャッチフレーズに'16年からスタート、すでに会員は1万人を超えている。提携のヘリ会社は7社で30機が使用可能で北海道から屋久島までを網羅している。家族や友人、所属クラブからの要請で無料で捜索に当たる。ヒトココは障害物があると電波をキャッチしづらいが、障害物のない上空ならば3km以上の受信能力があるためヘリによる捜索が有効である。事例として今年5月、群馬県妙義山での遭難が紹介された。起伏の激しい山なので捜索は難航が予想されたが、ヘリ出動からわずか1時間



八木原会長の挨拶

で遭難者を特定している。現在、北海道から東日本の県警、消防にはほぼ配備されており今後の活用が期待される。以上が午前の部で午後は村越先生による講義が行われた。

今年新たな取り組みとして静岡大学の村越教授の司会進行による全員参加型のワークショップ形式による検討会が実施された。テーマは「実現可能な遭難対策」で、最初に教授より「登山界の現状と遭難事故」の講演が行われた。現在の登山はハイキングからトレランといったものまで多種多様で、遭難事故も多様化している。講演では毎年報告される事故件数の内容を、教授の目で分析した結果が紹介された。例えば道迷いは年を追うにつれ増加するのか？分析の結果、その傾向は全くない。山での遭難確率は高齢者の方が高いのか？登山回数とヒヤリハットの回数から若い人の方が確率は高い。など、大変興味深お話を聞くことができた。また、各県から事前に提出いただいた地元での活動、事故事例について発表がなされた。発表は群馬、長野各県警と広島県防災航空、新潟県長岡市消防本部からの4事例が報告された。

**講演** 「北海道警察山岳遭難救助隊の取り組みについて」北海道警察本部より報告。北海道の山はアプローチが長くエスケープも長くなる。夏でも寒く、営業小屋が少ないなどの特徴がある。また、山菜取りやスキーヤーの遭難が多いのも特徴である。近年では外人の事故も増えており言葉の問題に対応するため数カ国語について簡単な基本単語をまとめたノートを所持するなどの工夫も行っている。各所轄の守備範囲は北海道といった土地柄から、広範囲にわたるため出勤から到着までの時間がかかってしまう場合もある。登山

道整備や、スキー場でのルート外滑走による事故の防止など、関連する組織と連携を取り合い事故防止につなげている。

ワークショップのまとめとして警察、消防、日山協からそれぞれが取り組む「実現可能な遭難対策」について発表を行った。日山協からは現在取り組んでいる「夏山リーダー」について町田から説明した。この企画は遭難者の大半を占める組織に加盟しない、いわゆる一般登山者を教育しようというプログラムで今年度からスタートする。一般登山者の登山スタイルは、先の奥多摩事故等にもみられるように基本に則った計画がなされておらず装備もずさんで危機管理も全くできていない。ナビゲーションスキルを習得することで道迷い遭難がなくなれば約1,000件の遭難がなくなることになる。きちんとした山の知識を教えることで歩行技術に起因する転滑落事故、気象に関連する事故に対しても効果が期待できるはずである。

終わりに国立登山研修所宮崎豊所長から今年度の「山岳遭難事故防止のために」の呼びかけ提案がなされ、日山協八木原罔明会長のあいさつをもって閉会となった。(遭難対策委員長 町田幸男)

## 「山岳遭難事故防止のために」 全国山岳遭難対策協議会

登山者は山岳遭難事故防止のために次のことに取り組む

- 登山の第一歩は、目的とする山をよく理解することからはじめます。地図を基本にガイドブックや現地等から事前に山岳情報(登山道の状況、積雪量や雪崩の危険性、山小屋の営業期間など)を調べること。
- 登山計画書を作成して、パーティー全員がその山を良く理解するとともに、体力と経験に応じた無理のない計画であるかよく検討すること。
- 登山計画書を家族や職場に知らせるとともに、登山届の提出が義務化されている山域もあるので、各都道府県の提出先や登山口の登山届ポスト等に必ず提出すること。
- 単独登山はやめて仲間と登り、ツェルトや救急用品、非常食を必ず携行して、ゆとりある行動を心がけて、安全に登山を行うこと。
- 山の事故は自己責任であることをよく考えて、山岳保険には必ず加入すること。
- 危急時に確実に連絡を取れる手段を確保するために、無線機、携帯電話等の通信機器を持参して登山

を行うこと。

- 登山に出発する前に、目的とする山域の最新の気象情報・火山情報等を入手して、現地の状況を把握すること。
- 登山中は常にパーティー全員の体調や疲労に注意を払い、コースの状況・気象条件等に応じて下山するなどの冷静な判断を行い、山岳遭難事故を絶対に起こさない心構えで行動すること。

関係者は山岳遭難事故防止に向けて次のことに努める

- 登山計画書の作成と登山届の提出を奨励し、計画的で安全な登山の普及に努める。
- 登山道、道標、トイレなどの整備とその適切な管理に努める。
- 今後設置する道標及び案内標示の様式、表記方法等について、可能な限り統一に努める。
- 詳細な山岳情報、気象情報、火山情報等の提供に努める。
- 中高年登山者やツアー登山参加者、外国人登山者の安全確保に努める。

## 平成30年度(前期)海外登山奨励金選考結果

本協会では、海外登山の振興と技術の普及、向上を目的として、海外登山奨励金制度を制定し、斬新、独創的で、多大な成果の期待できる登山計画に対し、奨励金を交付しています。

今期(平成30年9月～平成31年2月出発予定の隊)は2隊の応募があり、厳正な審査の結果、2隊ともに奨励金を交付することを決定いたしました。

### ■ THAMSERKU EXPEDITION 2018

期 間：2018年9月26日～10月30日

隊 員：高柳傑、門野巧昂

山 域：ネパール クーンブ山群



中央のラインがロシア隊の初登ライン。  
左が今回の想定登攀ライン。

内 容：秀峰タムセルク峰(6,608m)の南西壁を、新ルートからアルパインスタイルで登る。

評 価：大岩壁の未踏のラインに、少人数、アルパインスタイルで挑戦することを評価する。若い隊で経験も浅いが、今後に向けての期待も込めて。

交付額：20万円

## ■ GIRIGIRI BOYS PATAGONIA EXP.2019

期 間：2019年1月7日～3月4日

隊 員：横山勝丘、佐藤裕介

山 域：南米パタゴニア地方 フィッツ・ロイ山群

内 容：フィッツ・ロイ山群完全縦走ならびに、周辺の岩壁における縦走・新ルート登攀。

評 価：ただでさえ難しいフィッツ・トラバースを、より困難な南からの完全縦走を目指す計画に対して。パタゴニアは好天を掴むのが難しいが、十分な実績から、チャンスをつかめば大きな成果が期待できる。

交付額：30万円



## 文部科学大臣顕彰・表彰式

平成29年度に世界的規模のスポーツ競技会で優秀な成績を収めた選手及び指導者を顕彰する表彰式が、7月31日に都内の八芳園で行われた。今回顕彰されたのは、谷井菜月、伊藤ふたば、森秋彩、川又玲瑛、田中修太、檜崎明智、緒方良行各選手と西谷善子コーチ。当日は、八木原会長と檜崎、森、川又選手が出席した。



## 大宮求さんのお別れの会

4月2日に享年69歳で急逝された、国際委員会常任委員・大宮求さんのお別れの会が、8月7日に都内のアルカディア市ヶ谷で行われた。当日は、所属していた山学同志会や国際委員会をはじめ多くの友人・知人

約90人が参列して別れを惜しんだ。会場では1981年、ラトックIV峰で登頂後、クレバスに転落して奇跡の生還を果たした映像も紹介され、若かりし日の故人を偲んだ。



## 山岳遭難対策シンポジウム開催

山梨県山岳連盟では、創立70周年記念事業として7月8日(日)に山梨県立文学館で「山岳遭難対策シンポジウム」を開催した。

シンポジウムは、先ず青山千彰・関西大学名誉教授が「山岳遭難データや事故調査資料の分析からの原因、対策」と題した基調講演を行い、それを受けて「山岳遭難事故を減らすためにすべきこと」をテーマにパネルディスカッションが行われた。コーディネーターは神長幹雄氏(山と溪谷社)が務め、パネラーは、青山教授の他、北村憲彦(名古屋工業大学教授)、白鳥孝(伊那市長)、尾形好雄(日山協専務理事)の各氏。

基調講演では、「遭難事故は冬山やクライミングの世界の話ではなく、急峻な地形や厳しい気象条件下でもなく、一見絶対に安全と思われる条件下で多発している。」と報告され、これらの点についてそれぞれの立場からいろいろな対策等について発言があった。

現在、報告書を纏められているので、出来上がり次第、共有させてもらいたい。

スリランカ最大の聖地アダムス・ピークに登頂し、4つの世界遺産を巡る旅

## 聖山アダムス・ピーク登頂と スリランカの4つの世界遺産 8日間

発着地 東京・大阪・名古屋・福岡

出発日 12/24(月)・1/7(月)・1/21(月)・2/11(月)・2/25(月)・3/11(月)

旅行代金 298,000円～368,000円

※燃油サーチャージ(2018年8月20日現在：目安約17,000円)が別途必要です。

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第490号/日本旅行業協会正会員/ボンド保証会員

**ALPINE TOUR SERVICE 株式会社**

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海事ビル4階 ☎03-3503-1911

大阪 ☎06-6444-3033 名古屋 ☎052-581-3211 福岡 ☎092-715-1557

e-mail: info@alpine-tour.com http://www.alpine-tour.com

日時 平成30年8月8日(水)  
18時～21時10分

場所 岸記念体育会館・4階特別会議室

出席者 八木原会長、亀山、高橋、伊藤、平山の各副会長、尾形専務理事、小野寺、水島、相良、村岡、合田、小日向、仙石、蛭田、町田の各常務理事、中島、古屋監事(17名中16名出席)、欠席者：町田常務理事

## 1. 議事

- (1)平成30年度7月常務理事会・議事録の承認について(事前送付済)異議なく承認された。
- (2)各種規程類の改定について承認事項は、理事会に諮ることで承認。
- ①審議事項について  
JMSCメンバー(仮称)の扱いについて協議、提案通り承認。
- ②熱中症対策が求められ、JOCジュニアオリンピックカップ大会にスポーツ飲料の提供、医師の追加派遣について承認。
- ③国体山岳競技関連規程一覧常務理事会での改廃を整備する。
- ④役員候補者選考規程協議(改定案と現行)役員候補者選考委員会細則を検討。ブロック代表理事のカテゴリーは、6つのカテゴリーが、承認された。
- (3)臨時理事会次第について提案通り承認。  
仙石常務理事から第59回全日本登山大会の開催地について追加提案があった。
- (4)マーケティング委員会常任委員の追加について山田洋氏が追加承認された。
- (5)アジアユース選手権(11月1～4日・中国重慶)派遣選手選考基準について提案通り承認された。
- (6)世界選手権派遣選手について

- 提案通り承認された。
- (7)BWCミュンヘン派遣選手について提案通り承認された。
  - (8)Tokyo2020競技ボランティア募集について提案通り承認された。一部文面訂正後HPに掲載し、全国に通知。
  - (9)五輪クライミングウォール壁のレガシー利用について最終的には纏まらずSC部/五輪対策室合同で検討して常務理事会に再提案。
  - (10)スポーツクライミング国際大会出場選手派遣依頼について代表選手・自費参加選手の派遣を承認

## 2. 報告事項

- (1)7月度月次報告について
- (2)登山部会報告
- (3)JSPPO評議員定数アンケート結果
- (4)JSPPO H30年豪雨災害募金案内
- (5)福井プレ国体報告
- (6)YOGの内示について
- (7)全国遭難対策競技会報告
- (8)JSC/レスキュー講習・実施状況調査
- (9)会員・役員・委員名簿様式について

## 3. 後援報告、協賛等の依頼について

- (1)第18回ライチョウ会議後援について
- (2)第26回耐久レース後援について  
上記2項目、異議なく承認された。

## 4. 専門委員会動静(7～8月)

- (1)国際委員会  
7月17日(水) 10名出席、2名委任  
ア)報告事項  
・AACクライマーズミート派遣  
・キルギスレーニン90周年派遣  
・海外登山奨励金前期分(9月～翌2月出発2隊応募あり)  
イ)協議事項  
①平成30年度総会/第57回海登研について(6/23、24、栃木県青年会館コンセール小ホール)  
②大宮求さんお別れの会について  
③国内外に向けてのHP案について  
④海外登山懇談会について  
11/15(木) 19:00～オリセン80人部屋

## (2)山岳スキー委員会

- 7月26日(水) ネット会議 7名出席、3名委任  
ア)報告事項  
・ISMF 2018/19カレンダーについて  
・昨年オニコウペ大会の反省について  
イ)協議事項  
①今後の山岳スキー競技について  
②公認大会について  
③来年の大会について  
4月6日(土)～7日(日) 梶池  
岩岳開催案についての経過報告

## (3)SC医科学委員会

- 7月14日(土) 5名出席  
ア)競技会医務担当割り当て  
①JOCジュニアオリンピックカップ(8月11～13日 南砺、富山)  
・11、12日大森委員、13日中野めぐみ専門委員が担当  
・アシストは陣内AT(佐賀)が3日間担当  
②アジア選手権大会(11月7～11日 倉吉、鳥取)  
・7、8、9日中島委員が担当、10、11日大森委員が担当  
・アシスタントはユースボルダリング時において看護師  
③全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会(12月23、24日 加須、埼玉)  
・両日中島委員、樋口委員が担当  
イ)強化委員会との連携 進捗報告  
ウ)各業務担当委員報告  
エ)2020年オリンピック関連  
①第1回AMSV会議報告(中島委員)  
②FOP(競技場内)担当医師について  
カ)その他  
①BMI問題(樋口委員)  
②大会救護担当時の服装について(角田委員)

## (4)遭難対策委員会

- 7月25日(木) 7名出席スカイプ4名  
ア)無雪期レスキュー講習会について  
①要項が日山協HPにアップされた。  
②講師、スタッフについて  
③装備について  
④その他、食事他について  
イ)夏山リーダーについて

8月18、19日神奈川での研修には遭対委員12名、指導委員10名参加予定。テキストは7月中にまとめ、まずは研修会で配布できるように間に合わせる。UIAAへの交渉を開始するために委員会を設置したい。委員は、蛭田、町田、西内、清水、平野、松本ミ、青山とする。メーリングアカウンタを作成し、Steve氏に連絡する。

ウ)共済会について  
瀬藤副委員長を委員として派遣する。

エ)その他  
・携帯を使った捜索について検討。  
・減遭難1千件目標などのスローガンについて

## 5. その他の重要事項

- 7月21日～8月7日  
(1)安全登山サテライトセミナー(東京会場)  
7月21日(土)～22日(日) 於：国立オリンピック記念青少年総合センター 仙石常務理事

## 寄贈図書

寄贈本	(株)山と溪谷社	「黄色いテント」田淵行男
	(株)山と溪谷社	「ビヨンド・リスク」N. オコネル著、手塚勲訳
	(株)山と溪谷社	「秒速!山ごほん」萩原浩司+げんさん
	八木原 聡明	「遠い頂きーヒマラヤの記録と断想」田中壯信
雑誌	Club alpine italiano	「Montagne360」giugno2018
	(株)シマノ	Fishing Cafe 2018 vol.60
	Corean Alpine Club	「山」Vol. 257
	(株)ネイチュアエンタープライズ	「岳人」No.855
	(株)山と溪谷社	「山と溪谷」No.1001
	日本ヒマラヤ協会	「ヒマラヤ」No.485
	(公社)日本武術太極拳連盟	武術太極拳 2018年8月No.347
	獨協大学山岳部	部報「あひる」II
	日本勤労者山岳連盟	「登山時報」No.523
	(公社)日本山岳会	「山岳」Vol.113
会報	東京野歩路会	「山嶺」VOL.95 No.1062
	日本山岳写真協会ニュース	8月号 第455号
	Corean Alpine Club	「山」Vol.257
	おいらく山岳会	「山行手帖」No.705
	愛知県山岳連盟	愛知岳連ニュース 第429号、やまびこ 第178号
	FECC	「VERTEX」277
	神奈川山岳連盟	ときわ木 174号

- (2)スポーツ国際展開基盤形成事業会議  
(IF役員ポスト獲得支援) 7月24日(火)  
於:岸記念体育会館2F会議室  
小野寺常務理事
- (3)高頭式祭 7月25日(火)  
於:弥彦山神社 八木原会長
- (4)スポーツ功労者顕彰等式典  
7月31日(火)  
13:30~15:30 於:八芳園  
八木原会長
- (5)第62回全国高等学校総合体育大会登山大会  
8月2日(木)~7日(火) 於:三重県菰野町  
八木原会長、蛭田常務理事
- (6)大宮求さんお別れの会  
8月7日(火) 18時~  
於:アルカディア市ヶ谷「霧島」  
八木原会長、尾形専務理事他

## 表紙のことば

今月号の表紙写真は、ピラミッド・ピーク(パティバラ、7,123m)。カンチェンジュンガの北北東13kmに位置し、ネパール側の北には西ランポ氷河、南にはピラミッド氷河、シッキム側にはチャンサン氷河が流下する。1899年にカンチェンジュンガを一周したイギリスのD・W・フレッシュフィールドはその美しいピラミッド状の山容からこの名を命名した。1983年ネパール政府は、パティバラと改名。1949年、開国間もないネパールからR・ディテルの率いるスイス隊が、主峰に肉薄したが北東峰で断念。そのお陰で1993年、我々の日印合同隊が、初登頂の荣誉に与られた。

(写真撮影者・尾形好雄)

## 編集後記

第18回アジア競技大会で初めて競技種目となったスポーツクライミングの成績が掲載された(本紙速報)。コンバインドは2020東京五輪で争われる競技スタイルでスピード、ボルダリング、リードの3種目競技を行い、各順位点を掛け算し、数値の小さい順で複合順位が決まる(詳細JMSCAのHP)。専門ではないが、ずれかの種目で順位点1が無いと複合の上位入賞は難しいと思う。がんばれ日本代表!

(広報担当 水島彰治)

**一般財団法人 日本トレイルランニング協会**

〒252-0184  
神奈川県相模原市緑区小淵1545-1  
☎042-687-4011 FAX 042-687-3980  
E-mail kitanzawa@kib.biglobe.ne.jp

**NPO法人 北丹沢山岳センター**  
神奈川県・山梨県東部トレイルラン連絡協議会

事務局 〒252-0184 神奈川県相模原市緑区小淵1545-1  
TEL 042-687-4011 FAX 042-687-3980  
E-MAIL kitanzawa@kib.biglobe.ne.jp

- 北丹沢12時間山岳耐久レース実行委員会
- 陣馬山トレイルレース実行委員会
- 道志村トレイルレース実行委員会
- 八重山トレイルレース実行委員会
- 東丹沢宮ヶ瀬トレイルレース実行委員会
- 上野原秋山トレイルレース実行委員会

大会々長 杉本憲昭

**登山月報 第594号**

定価 110円(送料別)  
予約年間 1,300円(送料共)  
昭和45年12月12日  
第三種郵便物認可  
(毎月1回15日発行)

発行日 平成30年9月15日  
発行者 東京都渋谷区神南1-1-1  
岸記念体育会館内  
公益社団法人  
日本山岳・スポーツクライミング協会

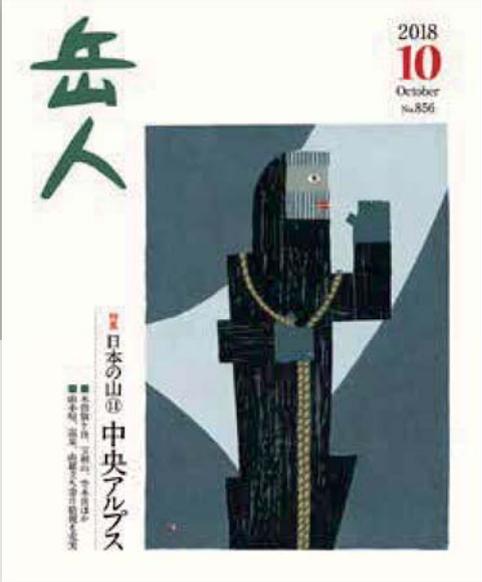
電話 03-3481-2396  
FAX 03-3481-2395

# 山岳 雑誌

# 岳人

がくじん

## 山と人、時代をつなぐ「岳人」



2018  
**10**  
October  
No.856

日本山岳 中央アルプス

**10月号 発売中**

**【特集】日本の山⑪ 中央アルプス**

★モンベルのウェブサイト  
全国のモンベルストアや書店にて発売中!

毎月15日発売 価格815円(+税)

**年間購読がおすすりめです。**

購読割引

送料無料

限定品プレゼント

年間購読なら、お得な価格で毎月お手元に冊子が届きます。

通常本体価格12冊

~~9,780円~~

→

年間購読なら12冊

**8,965円**

1年間で815円  
1冊分無料!

**年間購読特典 岳人オリジナルグッズをプレゼント!**

**岳人 ミニワレット (2個セット)**



サイズ:9×10cm  
※カラーはお選びいただけません

**さらに**

はじめてお申し込みの方に



岳人ピンバッジ

ご継続の方に

特製 マガジンBOX

年間購読のお申し込み **WEB** [www.gakujin.jp](http://www.gakujin.jp) 全国のモンベルストアでも受付中!

お問い合わせ **モンベル** **ポスト** 0120-982-682 / TEL 06-6538-5797  
※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

あなたを守る。  
あしたを作る。  
三井住友海上

損害保険と聞いて、  
なにを思い浮かべますか？

ケガ、災害、事故…日々の中で起こりうるリスクをカバーする。それは私たち三井住友海上の重要な任務ですが、すべてではありません。たとえば同じ自動車保険でも、暮らしの変化や自動車の進化を見つめて改善を続けること、宇宙開発や再生医療など、まだ世界にない保険を新しく作ることで社会の前進をサポートすることも、とても大切な役割です。変わらない一日に寄り添い、より豊かな明日を実現したい。だから私たちは、守ることと作ることを繰り返しながら前へ歩み続けます。

みつ い すみ とも かい じょう  
三井住友海上  
時空保険  
探査部  
Space-time Insurance  
Exploration Department

人類にとっての  
損害保険の  
必要性を調査。

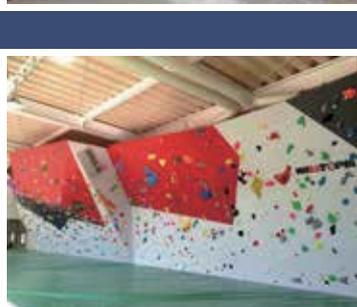
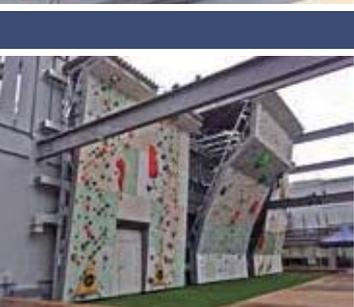
時空を超える  
ゲート。

社員証を  
かざせば  
タイムワープ。

立ちどまらない保険。

MS&AD

三井住友海上



# あなたの 山岳保険は 大丈夫ですか？

山岳保険の加入は登山者のマナーです

**日山協 山岳共済会** 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-7-11-707

TEL 03-5958-3396 FAX 03-5958-3397

E-mail [sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp](mailto:sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp)

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日除く)

携帯からも資料請求ができます。  
公益社団法人 日本山岳・スポーツライミング協会  
携帯サイト ( [www.jma-sangaku.or.jp/mobile/](http://www.jma-sangaku.or.jp/mobile/) )



WEBからもお申込みいただけます ( [www.sangakukyousai.com](http://www.sangakukyousai.com) )